

製造業



全社最適なIoTシステムの構築



QDCの見える化により非付加価値業務を大幅削減し職場環境エンゲージメントが向上

背景・課題

成行きを受注に職人による感覚作業、原価は不明瞭で品質集計は手入力、継承すべき技術が属人化し非付加価値作業により業務が逼迫している状況でした。そこで、設備稼働率、生産状況、作業標準書、個別原価、予実管理、不良率をDX化しシステムの再構築に取り組みました。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

IoTを活用し、全設備と生産管理システムを紐づけ、QDCデータの確認・収集が瞬時にできるようになりました。全社ペーパーレス化とノウハウの蓄積、作業の標準化など職場環境が整い女性活躍が進みました。また、目標値を可視化し社内イベントとして還元することでエンゲージメントが向上する好循環が生まれました。今後はAI活用による自動発注など、更なる最適化を目指します。



株式会社山田製作所

代表取締役 山田 英登

本社 愛知県あま市花正七反地19番地

